

各教科等年間指導計画

令和8年度

東京都立田無特別支援学校

3 年 組

グループ

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	国語
グループ名、人数	2グループ 8名		担当教員	◎高橋 保谷 渡邊	
ねらい	(1) 日常生活などで使う言葉などの理解を深め、音声やサイン、カードなどで要求や応答のコミュニケーションができる。 (2) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付ける。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	挨拶 個別課題 読み聞かせ	通年	○挨拶、点呼 ▲名前を呼ばれて反応することができる。 個々のねらいに応じた課題を行う。 ○なぞり書き、模倣書き ▲一定時間、課題に取り組むことができる。 ○絵本 ▲話を楽しみながら聞くことができる。	・生徒と視線を合わせて呼名する。 ・集中しやすい教室環境にする。 ・繰り返しのある言葉などリズム感のある題材を選ぶ。	
4 5 6	書字練習	10	○直線や曲線のなぞり書き ▲終点を意識して線を引くことができる。	・太線や印で、線や文字を見やすくする。	
7 9	物の名称	8	○具体物の認識 ▲身の回りのものに気付き、対応させることができる。	・写真カードを使用し、学校生活と結び付ける。	
	マッチング	10	○関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ▲絵カードを組み合わせる。	・適切な反復による学習を進めるようにする。	
	ゲーム	7	○ルールの理解 ▲かるたなどのゲームを行い、ルールを学ぶ。	・理解しやすいよう、簡潔なルールで行う。	
10 11 12	季節の名前	12	○仲間わけ ▲自分で選ぶことができる。	・絵カードを使用し、日常生活と結び付ける。	
1 1	ようすを表す言葉	12	○関連の深い一対のものや絵カードを組み合わせる。 ▲絵カードを組み合わせる。	・適切な反復による学習を進めるようにする。	
	運筆練習	11	○直線のなぞり書き ▲終点を意識して線を引くことができる。	・線を引きやすいサインペンを使用する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	社会
グループ名、人数	2グループ 8名		担当教員	◎畠山	
ねらい	(1) 国民生活や社会参加するためのきまり、公共施設の役割を理解する。 (2) 国内外の様々な地域、出来事に関心をもつ。 (3) 学習したことを生かし、社会に主体的に関わろうとする態度を養う。				
年間授業時数	17 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
10	自分が住む地域	4	○自分が住む地域 (道路、地形、地図) ▲学校周辺の施設について知る。	・学校周辺の地理について学習する。 ・ICT機器を使用して学校周辺の様子を確認する。	
11 12	我が国の国土の自然環境と国民生活	6	○日本の自然環境 ▲自然遺産を中心に、日本の様々な自然環境の様子を知る。 ○災害の種類や防災対策 ▲日本で起こる様々な風水害について知る。	・映像資料を用いて、分かりやすく示す。 ・マイタイムラインなどを使用し、風水害における避難行動を確認する。	
1 2 3	社会参加のきまり	7	○社会生活に必要な決まり(選挙と自治) ▲生徒会選挙に向けて、選挙の投票方法を知る。	・選挙ポスターや映像を提示する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	数学
グループ名、人数	2グループ 8名		担当教員	◎小幡 大石(水) 横井(金)	
ねらい	(1) 数量や図形などについての基礎的・基本的な概念や性質などを知る。 (2) 数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。 (3) 数学で学んだことを生活や学習に活用しようとする態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	金銭・ 買い物学習	通年	○金銭 ▲お金の種類を知り、種類ごとに分類できる。 ▲実際の買い物に模して、お金のやり取りができる。	・繰り返しお金のやり取りを経験する。	
4 5 6 7 9	数と計算	17	○数と計算 ▲具体的なものを正確に数えることができる。 ▲簡単な加減算ができる。	・興味のある物を教材にすることで関心を高める。 ・具体物や電卓を使って繰り返し行う。	
	数量関係	18	○大小、長短、軽重、多少等の比較概念 ▲大小、長短、軽重、多少を理解できる。 ▲測定や比較する経験をする。	・身近な具体物を実際に測ったり比較したりすることで、概念を実感できるようにする。	
10 11 12 1 2 3	図形	17	○図形の比較と名称 ▲図形の違いに気付く。 ▲図形の名称が分かる。	・比較しやすいように具体物を提示する。 ・定規を使って図形を描くなどして、図形に親しめるようにする。	
	時計と時間	18	○時計と時間 ▲1時間単位が形で分かる。 ▲生活に合わせた時間の流れが分かる	・ICT機器の時計アプリ等を活用して興味・関心を引き出すとともに、アナログ時計を具体的に操作して理解を促す。 ・具体的に日常生活の行動時間を示し、覚える。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	理科
グループ名、人数	2グループ8名		担当教員	◎畠山 渡邊	
ねらい	(1) 自然の事物・現象についての基本的な知識を理解する。 (2) 基礎的な観察や実験を行い、初歩的な技能を身に付ける。 (3) 自然に関心をもち、自然を愛する心情を養う。				
年間授業時数	18 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	植物	3	○植物の発芽、成長など ▲植物の成長の様子を知ることができる。 ▲農園芸班の野菜や植物などを知ることができる。	・動画や映像資料を用いて、分かりやすく示す。 ・農園芸班と連携して植物の観察をする。	
5	天気	4	○雲と天気の変化 ▲雲の量や動きなどによる天気の変化を知ることができる。 ▲防災にもかかわることが知ることができる。	・実際の天気や雲の動きを観察する。 ・映像資料を用いて、分かりやすく示す。	
6	物質	4	○食塩や砂糖などを温度の違う水に溶かす ▲水に物が溶ける様子を動画等で知ることができる。	・映像資料を用いて、分かりやすく示す。 ・実験的に食塩と砂糖を溶かす体験をする。	
7	生物	3	○人や他の生き物の体のつくり ▲自分の体の各部位について知る。 ▲色々な生き物の体の違いについて知る。	・自分の体と模型を比べながら学習する。 ・映像資料や模型を用いて、分かりやすく示す。	
9	エネルギー	4	○身の回りにある電気 ▲電池の知識を知ることができる。 ▲電気の使い方を知ることができる。	・乾電池や電球などを使い、簡単な実験を行う。 ・身近な電化製品などを題材にする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	音楽
グループ名、人数	1・2グループ 11名		担当教員	◎高橋(月)古室、川上、保谷、奈良本 (金)古室、大石、三國、小幡	
ねらい	(1) 様々な楽器に触れ、簡単な合奏を行う。 (2) 音楽のリズムや雰囲気を感じ、身体を動かすことを楽しむ。 (3) 鑑賞を通して、国内外の様々な音楽に触れる。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	くもんの写真図鑑カード楽器カード		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	導入の音楽 挨拶の歌 終わりの歌 鑑賞(生演奏等)	通年	○伴奏に合わせて楽器や手を鳴らす。 ▲音楽を聴き、楽器や手を鳴らそうとしている。 ○季節の歌や様々な音楽を聴き、楽器や歌の音色、雰囲気に親しむ。 ▲楽器や歌に関心をもって聴いている。	・生徒が演奏するタイミングで、目前に楽器を提示する。 ・課題曲に応じた楽器を提示したり視聴覚教材を用いたりして、楽曲をイメージしやすくする。	
4 5	身体表現 「リトミック」 鑑賞 「校歌」 「日本歌曲」	9	○音楽に合わせて、体を動かす。 ▲音楽を聴いて、自分なりに体を動かそうとしている。 ○日本歌曲に親しむ。 ▲静かに鑑賞することができる。	・視聴覚機器や教員が目の前で見本を見せる。 ・イメージをもちやすいように、イラストや画像等を使用する。	
6 7	器楽 「和太鼓」 (ぶち合わせ太鼓) 「打楽器」	10	○下打ちに合わせて、演奏する。 ▲下打ちのリズムに合わせて、楽器を鳴らそうとしている。 ○演奏姿勢を意識し腕を上げて演奏している。 ▲演奏前に正しい姿勢を確認する。	・演奏する前に、口伝の確認を行う。 ・教員が見本を提示し演奏姿勢が模倣しやすいようにする。	
9 10 11 12	器楽 「合奏」 歌唱・身体表現 「文化祭に向けて」	31	○決まったリズムを、楽器で演奏する。 ▲リズムに合わせて、演奏しようとしている。 ○文化祭に向けて、ダンスや器楽演奏の練習を行う。 ▲音楽に合わせて、体を動かしたり音を鳴らそうとしたりしている。	・演奏するタイミングが分かるよう、演奏する直前に言葉掛けを行う。 ・楽曲のイメージをもつことができるよう、視聴覚教材を使用する。 ・教員が目の前で手本を示す。	
1 2 3	器楽 「合奏」 歌唱・鑑賞 「卒業式の歌」	20	○タイミングに合わせて、楽器を鳴らす。 ▲音楽を聴いて、タイミングよく楽器を鳴らそうとしている。 ○卒業式で歌う楽曲を知る、覚える。 ▲終わりが分かり、見通しをもって最後まで聴くことができる。	・演奏するタイミングが分かるよう、演奏する直前に言葉掛けを行う。 ・歌詞カードを使用する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	美術
グループ名、人数	1・2グループ 11名		担当教員	◎佐藤、敦賀、三國、阿部、渡辺	
ねらい	(1) 造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて表現方法を工夫して表すことができるようにする。 (2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫などについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化などに対する見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。 (3) 楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	美術資料 東京の美術 (秀学社)		
月	単元 (題材) 名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	鑑賞 アートスキルト レーニング	通年	○作品を生活の中で生かす。 ▲作品を介したコミュニケーションができる。 ○画材に興味・関心をもち自分の力で変化させる。 ▲造形活動に主体的に取り組める	・制作を介して人と関わり、作品を生かせる場をつくる。 ・繰り返し行える活動にするなど、主体的に行えるように工夫する。	
4 5 6 7	オリエンテーション	4	○簡単な制作を通して主体的に活動に取り組み、授業のルールを知る。 ▲制作活動に興味関心をもち活動に主体的に参加できる。	・成功体験を通し、活動に意欲的に向かえるようにする。	
9	ICT 機器を使った情報収集と利用	8	○ICT 機器を利用した情報の選択と共有、作品制作。 ▲検索した情報を発表することができる。	・反復し技術習得できるようにする。	
	絵画制作	14	○キャンバスに描く。 ▲興味関心のあるものごとを選択し描くことができる。	・選択しやすいよう、素材の提案をする。	
10 11 12	文化祭に向けた取り組み	14	○文化祭舞台道具を制作する。 ▲制作分担に従い、個々の力を発揮して取り組める。	・発表の内容を授業で伝えることで、行事への理解につなげる。	
	立体制作	14	○粘土や羊毛等を使った羊の制作。 ▲説明を見聞きし制作に取り組むことができる。 ▲完成形や動きなどをイメージしながら制作に取り組むことができる。	・制作工程をイメージできる動画などを提示する。	
1 2 3	卒業記念制作	16	○記念作品を作る。 ▲使うことを意識して制作できる。 ▲掲示を見て、準備や手順を理解して制作することができる。	・手順が分かりやすいよう、視覚教材を充実させる。 ・道具を一定の場所に置き、準備しやすいようにする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	保健体育
グループ名、人数	1・2グループ11名		担当教員	◎大石（月）野瀬、川上、村上、内藤 （水）高橋、野瀬、阿部、岸 （金）野瀬、川上、三國、小幡	
ねらい	(1) 運動を通して、運動技能を高め、体力の向上を図る。 (2) 集団行動を通してルールを守り、友達と運動を楽しむ気持ちを養う。 (3) 健康や安全についての基礎的な知識を知り、卒業後も健康で安全な生活を送る気持ちを育てる。				
年間授業時数	105 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通 年	集団行動 体づくり運動	通年	○集合・整列 ○ラジオ体操 ○体づくり運動 ○ヨガ ▲指示や周囲の動きを意識することができる。 ▲体を動かす楽しさや心地よさを味わい、その行い方を理解することができる。	・流れをルーティン化し自主的に活動できるようにする。 ・音楽を掛けるなど、楽しい雰囲気をつくる。	
後 期	保健	2	○性被害・性加害について ▲卒業後の生活に向けて具体的な対策を理解している。	・ICT機器を活用し視覚支援を用いて、ロールプレイを実施する。	
4 5	陸上競技 ダンス	14	○短距離走（50m・100m） ▲短距離走の楽しさや喜びを味わい、その行い方を理解することができる。 ○創作ダンス ▲友達と関わったり、動きを持続する能力を高めたりすることができる。	・コーンや色ラインでコースを分かりやすくする。 ・ICT機器を活用し動きのイメージをもちやすくする。	
6	体力づくり運動 （新体力テスト）	13	○走・跳・投に関するテスト ▲新体力テストのいくつかの内容を行うことができる。	・実態に応じやり方を変えてテストを行う。	
6 7	水泳	28	○水中歩行 ○アクアビクス ▲水中を歩いたり、浮く感覚を体験したりすることができる。 ▲水中運動の楽しさや喜びを味わうことができる。	・水中運動の特性や利点を考えた指導やゲームを取り入れる。	
9 10	球技	15	○ゴール型（サッカー・ボウリング・ボッチャなど） ▲球技の楽しさや喜びに触れ、基本的な技能を身に付けることができる。	・実態に応じた球種を使用する。	
11 12	器械運動	17	○マット運動・平均台運動・跳び箱運動 ▲器械運動の楽しさを味わい運動することができる。	・準備や片付けの流れを分かりやすく提示する。	
1 2 3	陸上競技 武道	16	○長距離走 ▲長距離走の多様な経験をとおして決まりを守ることができる。 ○剣道、柔道、相撲、空手など ▲礼法や基本技の示範の動きを、模倣して動いている。	・スティックなどを使用し周回数を分かりやすくする。 ・ICT機器を活用して視覚的にわかりやすく示す。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	職業
グループ名、人数	1・2グループ11名		担当教員	◎奈良本、敦賀、高橋、大石	
ねらい	(1)社会人としてのマナーやルールを学ぶ。 (2)働くことに 関心をもち、体験する。 (3)卒業後の生活をより豊かにするために必要なスキルを高める。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	挨拶の練習 軽作業 ・タオル畳み ・封入等	通年	○挨拶の練習 ▲自分から挨拶ができる。 ○簡単な作業の習得、報告の練習 ▲援助要請、報告ができる。	・繰り返し実施し、場所を工夫して工程を分かりやすくする。	
4	ガイダンス 挨拶	2	○卒業までの一年間の流れを知る。 ▲学習内容の見通しをもつことができる。	・絵や写真等、視覚教材を用いる。	
5	現場実習 事前学習	5	○仕事内容、実習の目標、実習期間中の過ごし方を確認する。 ▲実習の仕事内容を知り、実習への期待や意識を持つことができる。	・現場実習のしおりに書き込んだり、絵に○を付れたりしながら確認できるようにする。	
6	現場実習 事後学習	4	○実習での活動を振り返る。 ▲実習の活動内容を振り返ることやお礼状の作成ができる。	・しおりや絵を視覚的に提示し振り返ることができるようにする。	
7	福祉課訪問 事前学習	3	○服装や、マナーを意識する。 ▲落ち着いて行動ができる。	・見本を見せ、写真等、視覚教材を提示する。	
9	現場実習 事前学習	4	○仕事内容、実習の目標、実習期間中の過ごし方を確認する。 ▲実習の仕事内容を知り、実習への期待や意識をもつことができる。	・現場実習のしおりに書き込んだり、絵に○を付れたりしながら確認できるようにする。	
10	余暇の過ごし方	4	○簡単なゲーム等の活動を行う。 ▲自分の好きな活動に気づき、行うことができる。	・簡単なルールや集団ゲーム等の活動を提示する。	
11	実習報告会	2	○実習の成果を具体的に報告する。 ▲実習の仕事内容や頑張ったことを発表することができる。	・しおりや絵を視覚的に提示して発表できるようにする。	
12	余暇の過ごし方	2	○一人で過ごせる余暇活動を選ぶ。 ▲好きな活動で落ち着いて過ごせる。	・複数の好きな選択肢と環境を整える。	
1	先輩の話を聞く会	4	○先輩の様子を映像で見る。 ○進路先や今後の抱負を発表する。 ▲卒業後の生活の様子を知り、自分の生活イメージを広げる。	・分かりやすい動画や絵や写真等、視覚教材を提示する。 ・ゲストティーチャー	
2	卒業後に向けて	3	○卒業後の生活や社会人になることを知る。 ▲社会人としての意識を高める。	・分かりやすい絵や写真等、視覚教材を提示する。	
3	1年間のまとめ	2	○1年間の活動を振り返る。 ▲1年間の活動を振り返り、新生活への見通しをもつ。	・分かりやすい動画や絵や写真等、視覚教材を提示する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	家庭
グループ名、人数	1・2グループ 11名		担当教員	◎川上、村上、矢島、岸、大野	
ねらい	(1) 家庭の機能について理解し、生活の自立に必要な家族・家庭・衣食住、消費や環境等についての基礎的な理解を図る。 (2) 生活の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を考える力を養う。 (3) よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し考えようとする実践的な態度を養う。				
年間授業時数	70 単位時間	使用教科書	外食のカロリーガイド<改訂版>		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	快適な環境	通年	○使用した用具を決まった位置に片付ける。 ▲準備や片付けに見通しをもって参加する。	・教員と一緒に繰り返し行う。	
4	・刈エンテーション スウェーデン刺繍	7	○自分の好きな色の糸を選ぶ。 ▲注目して自分から選択することができる。	・活動に見通しをもてるように、通す本数を提示する。	
5	布を用いた制作 ・ランチトート	8	○スウェーデン刺繍での制作。 ▲印に集中して道具を扱うことができる。	・印を色分けするなど針を通す位置を分かりやすく示す。	
6		8	▲色や模様など複数の選択肢からデザインを決めることができる。	・具体物や見本を提示するなど、視覚的に選択しやすいようにする。	
7		5	○ミシンを使って作品の仕上げ。 ▲コントローラーの手元を意識して押し、操作することができる。	・生徒の実態に応じて道具を工夫し、一人でできる部分を増やす。	
9		8	▲手元に集中して、道具を扱うことができる。		
10	日常食の調理 ・身支度の仕方 ・簡単な調理 消費生活 ・買い物の仕方 ・買い物体験 (調理と消費生活と3回ずつ交代)	8	○身支度チェック ○手洗いの仕方 ▲衛生に意識を向けることができる。	・同じ題材に繰り返し取り組み、調理方法に慣れる。	
11		6	○「まぜる」「つぶす」等、簡単な手技の調理。 ▲手本や友達の活動を注視し、自ら体験しようとする。	・写真カードや具体物で食材や調理器具の名称を確認する。	
12		6	○道具の使い方を知り、やってみようとする。 ▲扱いやすい道具を準備する。	・完成形を提示し、活動の見通しをもちやすいようにする。	
1		8	○店でのルールやマナー ○商品の購買の仕方 ▲商品を選択し、お金と交換して受け取ることができる。	・他の授業とも連携し、繰り返し経験を重ね練習する。	
2 3		6			

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	特別活動（ホームルーム）
グループ名、人数	各学級 60名		担当教員	各学級担任	
ねらい	(1) 自分たちで考え、協力して行動する。 (2) 様々な活動を通して、社会のルールやマナーを理解する。 (3) 集団の中で自分の責任を果たしたり、問題解決の方法などを学んだりする。 (4) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点		指導の工夫
4	高等部の学校生活を楽しもう	3	○学年オリエンテーション （高3の授業や行事を知る） ○学級目標決め ○個人目標決め ○係活動決め ▲高3の授業や行事を理解する。 ▲お互いに協力して活動する。 ▲意見を述べたり選択したりする。		・視聴覚機器を使用したプレゼンテーションを用いるなど、それぞれの生徒の障害特性や発達の状況に合わせて理解が促せるよう、教材を工夫する。
5 ～ 3	学級で活動しよう	20	○学級活動（体育祭、現場実習、文化祭などの活動の理解と準備、反省） ▲活動に見通しをもつことができる。 ▲自分の意志や意見をもつ。 ▲お互いに協力して活動する。		・視聴覚教材を利用して活動内容の理解を促す。 ・選択肢を示し、意見や意思を表出しやすくする。 ・ICT機器を利用する。
9	防災について考え、防災訓練をしよう	2	○災害についてそれらに関連した事象について知り、防災に対する意識を高める。 ○避難訓練、消火訓練に参加する。 ▲避難経路を知り、消火訓練等の体験ができる。		・視聴覚教材を利用してイメージがもてるよう促す。 ・ICT機器を活用する。
7 12 3	学年集会をしよう	8	○学年集会についての話し合い ○学年集会の準備 ○学年集会の進行 ▲活動内容を考えることができる。 ▲意見を発表したり選択したりすることができる。 ▲自分の役割を果たす。		・お互いの意見を尊重しながらまとめることができるよう助言する。 ・参加が可能な活動になるよう促す。
3	3年生のまとめ	2	○学級目標や個人目標、係活動の反省 ▲自分について振り返り、他者の良い点に気付くことができる。		・行事や学習場面の写真や映像等を振り返り、自己評価、他者評価ができるよう促す。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	日常生活の指導
グループ名、人数	S 類型 41名	担当教員	S 類型担任		
ねらい	(1) 身だしなみなどに配慮しながら身のことを処理し、持ち物などを自己管理できる力を身に付ける。 (2) 挨拶や返事ができ、社会生活に必要なルールやマナーを身に付け、自立的な生活をするための能力と態度を育てる。 (3) 交友関係を広げ、高校生活を楽しむ。				
年間授業時数	175 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	挨拶 返事 身辺処理 着替え 衛生 健康管理 朝の会 帰りの会 日直 係活動	175	○挨拶や返事を自分から行う。 ▲自分から元気よく挨拶・返事ができる。 ○場面に応じた丁寧な言葉遣いができる。 ▲丁寧な言葉遣いや態度で人と接することができる ○食事のマナー、身辺処理、健康管理、身だしなみなど社会生活に必要な力を身に付ける。 ▲社会生活を送る上で基本的な力を身に付けられる。 ○自分の持ち物を管理する。 ▲持ち物を自分で管理できる ○うがいや手洗いなどの習慣を身に付ける。 ▲自分からうがいや手洗いを行うことができる。 ○日課帳を自分から所定の場所に出すことができる。 ▲日課帳を所定の場所に出すことができる。 ○一日の予定を知り見通しをもって生活できる。 ▲一日を日記記入や発言で振り返る。 ○翌日の予定を日課帳に記入したり確認することで心構えを作る。 ▲翌日の予定を把握できる ○日直の流れを理解して進めることができる。 ▲日直の流れを理解している。 ○自分のやりたいことを選び、進んで取り組む。最後までやり通す力を身につける。 ▲自分の係を自覚し、継続してできる。	・教員が模範となる。 ・要所で言葉掛けを行い身に付ける。 ・継続して指導する。 ・場所を固定し動線を分かりやすくする。 ・個々の力に応じた言葉掛けに努める。 ・定着するよう、継続して取り組む。 ・係の仕事内容を具体的に示し、取り組むべき時に言葉掛けをする。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	生活単元学習
グループ名、人数	S・O 類型 57名		担当教員	B, C, D, E, F, G, H, I 組担任	
ねらい	(1) 社会人になるための準備として様々なことを経験する。 (2) 行事の内容を知り、意欲や目標をもって主体的に活動する。 (3) 季節行事に係る活動を通し、日本や外国の文化に触れる。				
年間授業時数	35 単位時間	使用教科書			
月	単元名 (題材)	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	3年生になって	2	○授業内容や行事について知る。 ▲説明にそって必要事項を記入する。	・各自のしおりに記入する。	
5	体育祭を成功させよう	2	○体育祭の事前・事後学習 ▲内容に見通しをもって活動できる。 ▲友達と協力して活動できる。	・体育の学習と関連をもたせて指導する。	
5 6 7	世界の国を知ろう	7	○外国の行事や文化に触れる (ALT による学習) ○ALT の母国であるアイルランドの文化や言語などについて学び、国際社会への理解と関心を高める。 ○アイルランドを含む5か国を選び、国旗や言語、食文化、日本とのつながりを調べる。 ▲外国人講師と交流する。 ▲国名と国旗を一致できる。	・興味関心のある題材をとりあげる。 ・家庭と連携する。 ・ICT 機器を用いる。 ・図書教材を利用する。	
9 10	現場実習を成功させよう	8	○現場実習先の名称、場所、内容を知る ○実習先での言葉遣いや態度、マナーなどを学ぶ ▲自分のできたことや課題を理解し、今後の学校生活に活かす。	・事後学習で本人と成果や課題を明らかにし、家庭と連携する。 ・ICT 機器を用いる。	
11 12	文化祭を成功させよう	7	○文化祭事前・事後学習 ○劇において演技や台詞で表現する。 ▲自分の役を意識し、表現する。 ▲友達と協力して作り上げる喜びや、達成感を味わう。	・得意なことを活かした活動に取り組む。 ・皆で協力してひとつのものを作り上げることの意義を説明する。	
1 2	校外学習に行こう	5	○活動場所や内容を知る。 ○係活動に協力して取り組む。 ▲自分の役割を理解し、主体的に活動する。	・視覚教材で活動場所や内容を理解する。 ・ICT 機器を用いる。 ・図書教材を利用する。	
3	社会人になる準備をしよう。	4	○3年生を送る会 ○卒業式事前練習 ▲卒業という節目を意識する。 ▲感謝の気持ちと新たな出発を決意する。	・門出のことばや歌の練習を繰り返し行い、自信をもって臨めるように支援する。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	総合的な探究の時間
グループ名、人数	60名		担当教員	3年生教員	
ねらい	(1) 実社会や実生活と自己との関わりから自分で課題を立て、情報を集め、整理・分析して、まとめ・表現することができるようにする。 (2) 探究に主体的・協働的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、新たな価値を創造し、よりよい社会を実現しようとする態度を養う。				
年間授業時数	35単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
4	オリエンテーション	3	○活動内容を知り、学習する課題を決めるきっかけとする。	・活動紹介スライドを写し、簡単に説明した後、希望アンケートをとる。	
5	以下の5グループに分かれて選択活動を行う。 ・情報 ・日本と世界 ・スポーツ ・芸術(音楽) ・芸術(美術)	4	【すべてのグループ】 ・ジャンル、歴史、今注目の種目や分野等について課題をもち、調べたりまとめたりし、発表する。	・生徒の主体的な活動を設定するよう工夫する。	
6		4	・生活に必要な身近な情報を調べる。 ・自然や日常生活をテーマに情報機器を使用して、動画など制作物にまとめる。	・情報を収集・整理するなどの学習活動を主体的に行えるよう、テーマ、教材等を工夫する。	
7		3			
9		3	・日本や世界の文化、地域のお祭りや伝統の遊びなどを調べる。体験する。	・体験活動・調査・研究、発表などを取り入れる。	
10		4	・ボールを使ったさまざまな集団スポーツ、各種トレーニング、ボッチャ交流会など		
11		4	・美術や音楽などの芸術作品について調べる、表現する	・活動のイメージがもてるよう、視聴覚機器を活用する。	
12		3		・自分の作品を紹介したり、友達の作品の良さを感じ取って感想を発表したりする場を設定する。	
1		3	▲課題解決のために調べたり体験をしたりし、実際に活動した感想を発表することができたか。		
2		3	▲問題意識あるいは興味・関心を持ち、情報を整理し、発表することができたか。		
3		1	▲友達と協力して調べ学習や発表に取り組むことができたか。		

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	作業学習（エコワーク）
グループ名、人数	エコワーク班13名		担当教員	◎川上、高橋、大石、保谷、三國、渡邊、横井、大野	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能（手・指・身体を使い方等）を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	出席確認 挨拶、返事、報告 体操 準備、片付け、清掃、 報告会	通年	○出席確認、挨拶、返事、報告、体操、準備、片付け、清掃 ▲名前を呼ばれたことを意識して、返事や挨拶をすることができる。 ▲自分のできる表出方法で、返事や報告ができる。 ▲自分の役割を知り、教師の言葉がけや支援のもと、自ら取り組むことができる。	・写真と名前カードのマッチングで、わかりやすい表示ボードなどを利用する。 ・言葉の表出が難しい場合は、VOCA 機器を利用する。 ・イラストや写真カードを用いる。 ・作業日誌は視覚支援を取り入れる。	
4 ～ 3 月	紙工作業	245	○紙工作業（マグネットなどの製品作り） ▲ラミネートはがし、紙干し、紙ちぎりの工程に継続して取り組む。 ▲シュレッダーがけ、紙折機の操作、ハサミや裁断機の使用など、手指の使い方を覚え道具を操作して作業ができる。 ▲ミキサーによるパルプ液作り、型詰め・型押しなど、自分で道具を操作して作業ができる。	・生徒の実態や興味・関心に応じて、内容や工程を選んで取り組む。生徒の取り組みやすい活動があれば、適宜取り入れる。 ・生徒の実態に合わせ、ラミネートはがしのきっかけや紙の切り込み等の支援をする。 ・生徒の実態やその日の体調等に合わせ、作業の量や時間、行程内容を調整する。	
通年	現場実習		○福祉事業所等の現場で働くことを体験する。 ▲事業所の職員や利用者と一緒に、作業や活動に取り組む。 ▲挨拶・報告ができる。	・慣れない場所での実習に見通しをもてるよう、生徒の実態に応じて説明や支援を行う。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部		高等部	学年	3年	教科等名	作業学習
グループ名、人数		クラフト班9名		担当教員	◎牧野 奈良本	岸 小幡/矢島
ねらい		(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数		245 単位時間	使用教科書			なし
月	単元名 (題材)	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点			指導の工夫
通年	職業生活	通年	○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談の練習 ▲「できました」「確認お願いします」等 が言える。			・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。
4 5	オリエンテーション	15	○作業学習のねらいを知る。 ○作業学習の心構えを理解する。 ▲ねらいや心がまえ、手順、作業工程を理解できる。			・繰り返し言葉で伝える。 ・視覚的に分かりやすく示す。
	現場実習について	15	○現場実習のねらいを知る。 ▲ねらいを知り心構えをする。			
6 7 9 10 11 12 1 2	クラフト作業販売	200	【木工作业】 ○材料の加工と切断 ○組立、整形、塗装、仕上げ 【革工作业】 ○革の染色 【紙工作业】 ○紙の切断と張り子作り ▲作業内容、工程を理解し自分から意欲的に作業できる。 ▲挨拶・報告・連絡・相談・質問をきちんと行う事ができる。 ▲道具を適切に扱い、仲間と協力して効率よく作業する事ができる。 ▲一定時間集中して作業する事ができる。 ▲作業スピードを意識して正確に作業する事ができる。			・視覚的にわかりやすく示す。 ・毎時間の作業量や目標を明確にする。 ・補助具を工夫・活用し、生徒が自分で作業を行えるようにする。 ・毎時間、ねらいの確認と作業の評価を行い、作業日誌に残す。 ・販売予定数や売り上げ数などを明確に数字で示し、作業意欲や態度の向上、効率的な製作につなげる。
	現場実習		○現場実習において1～2週間働くことを体験する。 ▲指示どおりに仕事に取り組むことができる。 ▲挨拶・報告・相談ができる。			
3	作業学習のまとめ	15	○自己評価と課題の整理 ▲挨拶、報告、連絡、相談、質問、指示された事を守り作業を行うことができる。 ▲時間を守り、準備や片付けを積極的に行うことができる。 ▲就労に適した態度・言葉遣いが意識できる。			・視覚的に分かりやすく示す。 ・ワークシート等を活用する。

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	農園芸班 11名		担当教員	◎村上、野瀬、内藤、佐藤、菅原	
ねらい	(1) 素材、道具・機械、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能(手・指・身体の使い方等)を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談等を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 働くことの喜び、厳しさを体験することを通して、労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活	通年	○挨拶 ○作業準備と片付け ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ▲片付けや清掃ができる。	・視覚教材を用い具体物を見せる。	
4	オリエンテーション	5	○作業班メンバーについて ○作業内容と作業計画について ▲作業班のメンバーがわかる。 ▲作業内容がわかる。	・写真や動画、具体物を使って分かりやすく説明する。	
5 6 7 9 10 11 12 1 2 3	農業の生物の栽培と管理 ・野菜の栽培 馬鈴薯、ナス、トマト、蚕豆、ピーマン等 秋冬野菜の栽培 大根、蕪、ブロッコリー、白菜等 ・草花栽培、マリーゴールド、パンジー、ビオラ等、バジル等、ハーブ類 ・野菜の販売準備及び販売	240	○畝づくり ▲スコップでの土おこしができる。 ▲鍬等を使った畝作りができる。 ▲耕運機の操作ができる。 ○苗植え ▲マルチ張りができる。 ▲穴開けができる。 ○土作り ▲土運びができる。 ▲土混ぜができる。 ○農作物の管理 ▲水やりができる。 ▲除草ができる。 ○収穫 ▲教員に指示された作物をはさみで収穫できる。 ○販売 ▲笑顔で販売、接客ができる。 ○種まき、苗作り ▲教員に指示された場所に種や苗を植えることができる。	・必要に応じて倒れないように身体を支える。 ・補助具を使い畝などがまっすぐになるようにする。 ・畝の幅や長さが整うように視覚的に支援する。 ・等間隔に穴が開くようゆっくり行なわせる。 ・先頭の者が目的地の把握や、後方に気配りを行うことを意識付ける。 ・活動の前と後に畑や作物の確認を一緒に行い変化に気づけるようにする。 ・模範で野菜の切断方法や持ち方などを示す。 ・ロールプレイを行う。 ・補助具を使用して正確に植えられるようにする。	
通年	現場実習		○福祉事業所等の現場で働くことを体験する。 ▲事業所の利用者と一緒に、作業や活動に取り組む。	・慣れない場所での実習に見通しをもてるよう、生徒の実態に応じて説明や支援を行う。	

令和8年度東京都立田無特別支援学校年間指導計画

学部	高等部	学年	3年	教科等名	作業学習
グループ名、人数	食品加工班 9名		担当教員	◎敦賀 阿部	
ねらい	(1) 素材、道具、工程・手順についての知識、理解を高め、基本的な技能を高める。 (2) 職業生活に必要な返事・報告・相談を必要に応じて活用できる力を身に付ける。 (3) 労働に対する意欲を高め、仲間と協力できる適切な人間関係を育む。				
年間授業時数	245 単位時間	使用教科書	なし		
月	単元(題材)名	指導時数	○主な学習内容 ▲評価の観点	指導の工夫	
通年	職業生活	通年	○衛生・挨拶 ▲適切な挨拶ができる。 ▲身だしなみが整えられる。 ○作業の準備と片付け ▲準備、片付け、清掃ができる。 ○報告・連絡・相談 ▲「できました」「確認お願いします」等が言える。	・身だしなみチェックを作成する。 ・身支度の手順をカードや写真で示す。 ・必要な用具や材料の写真カードを使用する。 ・報告の台詞を言う練習時間を設ける。	
4	オリエンテーション	18	○作業内容と調理工程 ▲作業内容や調理工程を理解して実践できる。 ○テーブル拭き ▲清掃検定の拭き方ができる。	・写真や動画を使用し手説明する。 ・繰り返しの取り組みで定着を促す。	
5 6 7	調理 (製品作り) ・各種パン作り ・各種製菓作り ・販売	68	○計量の準備 ▲スケールやタッパー、材料を自主的に準備できる。 ○計量 ▲正確に計量ができる。 ○分割・丸め ▲道具を使って生地を計り分けることができる。	・必要な用具や材料の写真カードを示す。 ・計量マニュアルを作成し、確認と報告をしながら作業をする。 ・正確に計量できるように確認と報告を促す。 ・大体の量を視覚的に分かるように提示する。	
9 10	事務 ・領収書 ・カード ・販売 POP 作り ・シール貼り等	57	○紙袋作り、紙箱作りなど ▲自分の分担作業を順序通りに取り組む。 ○ラベル貼り ▲まっすぐにラベルが貼れる。	・作業工程を分業化し、得意な場所に配置する。 ・ラベル貼りの補助具を活用する。	
11	文化祭準備 ポスター作製 看板づくり	28	○ポスター作製・看板づくり ▲文化祭に向けて、イメージを固め、集中して取り組む。	・ICT を活用し、文化祭ポスターを作成する。	
12 1 2	調理 (製品作り) ・各種パン作り ・各種製菓作り ・販売	65	○成型 ▲パンの種類に応じた成型ができる。 ○袋詰め ▲衛生に配慮してパンを袋に入れることができる。 ○販売、金銭のやりとり ▲接客用語を言うことができる。 ▲釣銭のパターンを覚える。 ○工程表の見方を覚え、自ら仕事に取りかかることができる。 ▲工程表の見方がわかる。	・成型ができる補助具を準備する。写真レシピを作成する。 ・パンに応じた袋の大きさを用意する。 ・接客用語が身に付くよう繰り返し練習をする。 ・お釣り表を作成する。 ・ホワイトボードに各自の仕事の仕事をわかりやすく表示する。	
3	職業生活 1年間のまとめ	9	○作業学習のねらいや心構えを意識して作業ができたか振り返り自己評価する。 ▲自己評価と課題整理ができる。	・良かったところを褒めて就労への意欲につなげる。	